

教職課程履修者用

履修カルテ

学籍番号		<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; text-align: center;">白黒・カラー問わず 私服写真可 但し脱帽のこと</div> 写真貼付 (3cm×4cm)
フリガナ		
氏名		
生年月日		
学部・学科	学部 学科	

取得希望 免許状	①
	②
	③
	④
	⑤

※ 校種、教科をそれぞれ記入すること



本履修カルテは、教職関係ガイダンス出席の際は必ず持参すること

教職ガイダンス等日程MEMO

1 年次	開催日	開始時刻	教室	概要
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
2 年次	開催日	開始時刻	教室	概要
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
3 年次	開催日	開始時刻	教室	概要
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
4 年次	開催日	開始時刻	教室	概要
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		

※ 掲示板等で確認したガイダンス日程を個人で管理するために使用してください。

※ 各年次ごとに用意された記入欄の数と、開催されるガイダンスの回数とは関係ありません。

<教職課程履修者向け> 履修カルテ_資料配布予定一覧

【必須項目凡例】○…提出必須、△…任意提出

項番	資料名	必須	予定時期	注意事項	確認
1	教職課程における科目一覧	○	1年次4月		
2	履修カルテと記入の仕方	○	1年次4月		
3	教育の基礎的理解に関する科目	○	1年次4月		
4	教科に関する専門的事項（修得科目一覧）	○	1年次4月		
5	学校ボランティア活動への参加について	△	1年次4月	任意提出（記入できる活動を自主的に 行った場合は、記入すること）	
6	課外活動への参加について	△	1年次4月		
7	学科別 「教科に関する専門的事項」科目一覧	△	1年次4月	任意提出（1年次向けにポータルサイトのキャビ ネットにてデータ配布するが、2年次に配布する教 職履修ガイドブックでも同じ内容を確認できる ため、必ずしもカルテに挟む必要は無い）	
8	教職課程 志望動機及び教職への意識調査レポート	○	1年次4月		
9	教職課程履修者自己評価票（1年次）	○	2年次4月		
10	教職課程履修者自己評価票 教科に関する専門的事項（基礎編）	○	2年次4月		
11	教職課程履修者自己評価票（2年次）	○	2年次12月		
12	履修カルテ 3年次コメントシート/教職課程履修者自己評価票（3年次1期）	○	3年次11月		
13	教職課程履修者自己評価票 教科に関する専門的事項（実習編）	○	3年次4月		
14	教育実習に臨むにあたって作成ワークシート	○	3年次4月		
15	教育実習に向けた短期目標設定シート（3年次後半）	○	3年次7月		
16	教育実習報告記録票	○	3年次10月		
17	教育実習に向けた短期目標設定シート（追加版）	○	3年次11月	3年次11月のガイダンスにて配付予定	
18	介護等体験報告書Ⅰ・Ⅱ（コピー）	○※	随時	※中学免許状取得希望者は提出必須 ※高校免許状のみ取得希望の場合は 提出不要	
19	介護等体験証明書（原本） ※再発行不可のため、厳重保管	○※	随時		
20	教育実習録「教育実習を終えて」（コピー）	○	4年実習後		
21	教育実習研究授業等 学習指導案	○	4年実習後		
22	教育実習の記録（個人により作成した資料等。フォーマットなし）	△	4年実習後	任意提出（実習日誌内の特に印象に残る ページや資料等があればコピー）	
	教職ガイダンス各種資料		随時	必要に応じてカルテに挟むこと	

※リストの順に綴じ込むこと

学籍番号	
氏名	

ガイダンス名	1年次履修カルテ配付ガイダンス	項番	1	4
資料名	教職課程における科目一覧(教育の基礎的理解に関する科目等)	配付日	年 月 日	

科目区分	本学開設科目					備考 (教育職員免許法施行規則に定める各科目に含めることが必要な事項)
	授業科目	配当学年	単位数		履修方法等	
			必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育学の基礎	1	2			教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想
	教育史	2		2		
	教職概論	1	2			
	教育行政学	2		2	いずれか1科目 選択必修	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)
	教育法学	2		2		
	生涯学習概論Ⅰ	2		2		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)
	生涯学習概論Ⅱ	2		2		
	教育社会学	3		2		
	教職特講	3		2		
	教育心理学	1	2			
	学習心理学	3		2		中学校 3 2 単位 / 高等学校 2 8 単位
	青年心理学	3		2		
	特別支援教育概論	2	2			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程
カリキュラム論	2	2			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	2	2		中学校免許は必修 高校免許は選択(※1)	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)
	総合的な学習の時間の指導法	2	2			道徳の理論及び指導法
	特別活動論	2	2			総合的な学習の時間の指導法(中学校) 総合的な探究の時間の指導法(高等学校)
	教育方法論 [ICT活用を含む]	2	2			特別活動の指導法
	生徒理解と教育相談	1	2			教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法
	生徒・進路指導論	2	2			教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法
教育実践に関する科目	教育実習(事前指導)	3	2			生徒指導の理論及び方法
	教育実習Ⅰ	4		4	中免のみⅠ必修、 高免はいずれか 1科目選択必修	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法
	教育実習Ⅱ	4		2		教育実習
	教職実践演習[中・高]	4	2			学校体験活動
	教職演習	3		2		教職実践演習

□ 大学が独自に設定する科目

※1: 「道徳教育の理論と実践」は、高等学校免許状においては、「大学が独自に設定する科目」として免許状取得のための単位に算入できる。

ガイダンス名	1年次履修カルテ配付ガイダンス	項番	1
資料名	教職課程における科目一覧(教科および教科の指導法に関する科目)	配付日	年 月 日

科目区分	本学開設科目					教育職員免許法施行規則に定める各科目に含めることが必要な事項	
	授業科目	履修学年	単位数		履修方法		本学での必要単位数
			必修	選択			
教科及び教科の指導法に関する科目	(免許教科によって異なる)					原則20単位	教科に関する専門的事項
	社会科教育論 I	3	2		※	中学校・高等学校(国語・英語・理科・宗教・数学) 8単位 / 高等学校(書道・公民・地理歴史・商業・情報) 4単位	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)
	社会科教育論 II	3	2				
	社会科・地理歴史教育論 I	3	2				
	社会科・地理歴史教育論 II	3	2				
	社会科・公民教育論 I	3	2				
	社会科・公民教育論 II	3	2				
	理科教育論 I	3	2		当該教科の指導法について必修		
	理科教育論 II	3	2				
	理科教育論 III	3	2				
	理科教育論 IV	3	2				
	国語教育論 I	3	2				
	国語教育論 II	3	2				
	国語教育論 III	3	2				
	国語教育論 IV	3	2				
	書道教育論 I	3	2				
	書道教育論 II	3	2				
	英語教育論 I	3	2				
	英語教育論 II	3	2				
	英語教育論 III	3	2				
	英語教育論 IV	3	2				
	宗教教育論 I	3	2				
	宗教教育論 II	3	2				
	宗教教育論 III	3	2				
	宗教教育論 IV	3	2				
	商業教育論 I	3	2				
	商業教育論 II	3	2				
	情報教育論 I	3	2				
情報教育論 II	3	2					
数学教育論 I	3	2					
数学教育論 II	3	2					
数学教育論 III	3	2					
数学教育論 IV	3	2					

※中学校一種「社会」の免許状を取得する場合には、「社会科教育論 I・II」(合計4単位)に加え、「社会科・地理歴史教育論 I・II」(合計4単位)または「社会科・公民教育論 I・II」(合計4単位)から4単位以上、計8単位以上を修得しなければならない。

ガイダンス名	1年次履修カルテ配付ガイダンス	項番	2	6
資料名	履修カルテと記入の仕方	配付日	年 月 日	

【履修カルテとは】

4年次必修科目の「教職実践演習」は、当該演習を履修する者の教職課程に関する授業科目の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するものです。そのため、教職実践演習の授業の目的については、「学生のこれまでの教職課程の履修履歴を把握し、それを踏まえた指導を行うことにより、不足している知識や技能等を補うものとする」とされています。

「履修カルテ」とは、教職課程に関する授業科目の修得履歴を以下の要領で学生自身が記入し、4年次の「教職実践演習」履修時に担当教員へ提出することで、教員として必要な知識技能の修得状況を確認し、指導に反映させるために活用することを目的としています。

▼ 記入方法 ▼

【教育の基礎的理解に関する科目等の記入について】

記 入 例

科目名	① 教職概論	担当教員	② 立正 教師郎	
修得年次	③ 1 年 次	必修区分	必 修	
④	授業の到達目標： 教職の意義、教員の役割への認識を深める。 授業内で取り上げた内容以外にも、自発的に教育に関する新聞記事や評論に目を通し、今の教育現場で求められる教員の役割について自分なりに考察してみる。			
⑤	自己評価・課題： 【自己評価】授業で扱ったものの中では世界の教育事情に興味深く、授業以外でも個人的に学習を進めることができた。			
		⑥ 達成度	⑦ 成績評価	
		4	B	
		⑧ 記入日		
		年 月 日		

番号	項 目	記入の仕方
①	科目名	一部の必修科目・選択必修科目については既に印字されています。他の科目については自身で記入すること。
②	担当教員	当該科目の講義を担当した教員名を記入すること。
③	修得年次	当該科目の講義を修得した年次を記入すること。
④	授業の到達目標	シラバスの授業の到達目標等を基に、自身の講義への取り組み方やこの授業を通して発見したい課題を明確に記入すること。
⑤	自己評価・課題	授業全体を振り返っての自己評価を記入すること。また、この授業で得たものや、今後の課題を明確に記入すること。
⑥	達成度	「講義のねらい」として定めた目標に対しての達成度を以下の評価基準で記入すること。 【4】… 目標以上の成果があった 【2】… 一部達成できた 【3】… 達成できた 【1】… 課題が多く残った
⑦	成績評価	担当教員による成績評価を記入すること。
⑧	記入日	記入した日付を記入すること。

【教科に関する専門的事項の記入について】

科目名	担当教員	修得年次	成績評価	自己評価	記入日
① (例)日本史概説	② 舎人	③ 2	④ B	⑤ 4・③・2・1	⑥ /

番号	項目	記入の仕方
①	科目名	修得した「教科に関する専門的事項」に該当する科目の名称を記入すること。
②	担当教員	当該科目の講義を担当した教員名を記入すること。
③	修得年次	当該科目の講義を修得した年次を記入すること。
④	成績評価	担当教員による成績評価を記入すること。
⑤	自己評価	当該科目を履修しての自己評価を、以下の評価基準で記入すること。 【4】…十分に理解できた 【2】…一部課題が残った 【3】…理解できた 【1】…課題が多く残った
⑥	記入日	記入した日付を記入すること。

【課外活動・学校ボランティア活動の記録の記入について】

□ 課外活動の記録について

課外活動における記録ノート① (部活動・サークル・アドバイザーグループなど)	
① 該当の課外活動に○をつけること 部活動・サークル・アドバイザーグループ その他()	名称
② 【活動の主旨】	
③ 【課外活動を通して学んだこと】	
④ 記入日 年 月 日	

番号	記入の仕方
①	活動の種類に○をつけ、団体名を記入すること。
②	団体の活動主旨を記入すること。
③	活動を通して学んだこと、考えたことを記入すること。
④	記入した日付を記入すること。

□ 学校ボランティア活動の記録について

学校ボランティア活動における記録ノート①	
① 体験校(園)名称	
② 活動内容	
③ 体験期間	年 月 日() ~ 年 月 日()
④ 【学校ボランティア活動を通して学んだこと・感想など】	
⑤ 記入日 年 月 日	

番号	記入の仕方
①	体験活動を行った学校(施設)名を記入すること。
②	体験活動を行った内容を記入すること。
③	体験活動を行った期間を記入すること。
④	活動を通して学んだこと、考えたことを記入すること。
⑤	記入した日付を記入すること。

ガイダンス名	履修カルテ配付ガイダンス	項番	3
資料名	教育の基礎的理解に関する科目等	配付日	月 日

科目名	教職概論	担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	必 修
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

科目名	教育学の基礎	担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	必 修
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

科目名	教育心理学	担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	必 修
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

ガイダンス名	履修カルテ配付ガイダンス	項番	3
資料名	教育の基礎的理解に関する科目等	配付日	月 日

科目名	生徒理解と教育相談	担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	必 修
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

科目名	生徒・進路指導論	担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	必 修
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

科目名	特別活動論	担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	必 修
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

ガイダンス名	履修カルテ配付ガイダンス	項番	3
資料名	教育の基礎的理解に関する科目等	配付日	月 日

科目名		担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	必 修
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

科目名		担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	必 修
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

科目名		担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	必 修
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

ガイダンス名	履修カルテ配付ガイダンス	項番	3
資料名	教育の基礎的理解に関する科目等	配付日	月 日

科目名		担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	選 択 必 修
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

科目名		担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	選 択 必 修
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

科目名		担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	選 択 必 修
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

ガイダンス名	履修カルテ配付ガイダンス	項番	3
資料名	教育の基礎的理解に関する科目等	配付日	月 日

科目名		担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	選 択
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

科目名		担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	選 択
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

科目名		担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	選 択
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

ガイダンス名	履修カルテ配布ガイダンス	項番	3
資料名	教育の基礎的理解に関する科目等	配付日	月 日

科目名	教職概論	担当教員	立正 教師郎
修得年次	1 年 次	必修区分	必 修
授業の到達目標： 教職の意義、教員の役割への認識を深める。 授業内で取り上げた内容以外にも、自発的に教育に関する新聞記事や評論に目を通し、今の教育現場で求められる教員の役割について自分なりに考察してみる。			
自己評価・課題： 【自己評価】授業で扱ったものの中では世界の教育事情が興味深く、授業以外でも個人的に学習を進めることができた。			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	
【課題】しかし、目標としていた記事や評論はなかなか数をこなすことができずに終わってしまったので、このまま終わるのではなく、継続課題としていきたい。			

科目名	教育学の基礎	担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	必 修
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

科目名	教育心理学	担当教員	
修得年次	年 次	必修区分	必 修
授業の到達目標：			
自己評価・課題：			
		達成度	成績評価
		記入日	
		年 月 日	

ガイダンス名	2年次教職ガイダンス	項番	9
資料名	教職課程履修者自己評価票(1年次)	配付日	月 日

教職課程履修者 自己評価票(1年次)

学籍番号		
学部・学科	学部	学科
氏名		

別紙記入要領に沿って、以下の各項目についての現段階での授業を通じて「理解したこと」、「重要である点」として記入すること。また、経験を踏まえた「自らの考え」及び学習上の「課題」を記入すること。

● 学校教育についての理解	
理解・重要点:	
課題:	

● 子どもの発達や生活指導についての理解	
理解・重要点:	
課題:	

● 教えることについての理解	
理解・重要点:	
課題:	

● 教員採用試験に向けた準備	

●中学校・高等学校で学ぶ『教科の内容』と、大学で学んでいる『教科に関わる内容』の『接続』についてどのように考えていますか？（自らが教員として『教科』を指導することをイメージし、自らの考えを記入すること。）

●今後、「教育実習」に向けて『教科の内容』を多く学ぶ必要があります。「教育実習」を行うためには、『教員として必要な教科の知識』も身につけておく必要があります。今後、大学での『教科に関する学び（学科専門科目等）』においてどのようなことを意識し、またどのような知識の強化を図っていく必要があると考えますか？

2年次の学びを整理するため、全ての項目を記入し履修カルテに綴じること。

※提出を求める場合がある

ガイダンス名	2年生履修カルテガイダンス(自己評価票)	項番	11
資料名	教職課程履修者自己評価票(2年次)	配付日	月 日

教職課程履修者 自己評価票(2年次)	学籍番号		
	学部・学科	学部	学科
	氏名		

別紙記入要領に沿って、以下の各項目についての現段階での授業を通じて「理解したこと」、「重要であると考え
る点」及び学習上の「課題」をそれぞれ挙げなさい。

● 学校教育についての理解
憲法や教育基本法の標語の羅列で終わらせることなく、現行の学習指導要領の主目標は、何か、なぜ、それらが学校で目指されるかまで、明確に書くとよい。
理解・重要点：
課題：

● 子どもの発達や生活指導についての理解
自分自身の小学生・中学生・高校生時代を振り返り、何がどう変化していったのか、自らの経験を踏まえて具体的に書くとよい。例えば、自分から進んで本を選び自分で読み進める、他人から強制されることなく身体を鍛えるようになるなど。またそれは、これから思春期を迎える子供に勧められるかなど。
理解・重要点：
課題：

● 教えることについての理解
理解・重要点：
課題：

● 教員採用試験に向けた準備

ガイダンス名	3年次内諾依頼状配付ガイダンス	配付日	月 日	項番	12
資料名	履修カルテ3年次コメントシート/ 教職課程履修者自己評価票(3年次1期)	学籍番号		学生氏名	

■履修カルテ3年次コメントシート

項 目	コ メ ン ト
『教育実習(事前指導)』 授業を通じての講評	

教育実習(事前指導) 担当教員氏名	
-------------------	--

■教職課程履修者自己評価票(3年次1期)

【Step.1】<他者の理解>自らの考えと異なる視点を理解する。自己評価票(2年次)及び表面「コメントシート」をもとに、各項目の『理解・重要点』『課題』を同じ目標を持つ他者と共有することで、異なる視点からの『理解・重要点』『課題』を発見する。

☞ 教員として必要な資質・能力である「他者との協力やコミュニケーション能力」が、より広く深い理解へのポイントとなる。

【Step.2】<現状の理解>自己評価票(2年次)に記入した各項目の課題(≒3年次達成目標)に対し、現在(1期終了時点)の達成進捗に【Step.1】にて学んだことを踏まえ自己分析を行い、自らの現時点での達成進捗を把握する。

●学校教育についての理解	
【Step.1】	【Step.2】自己分析結果・達成進捗
●子どもの発達や生活指導についての理解	
【Step.1】	【Step.2】自己分析結果・達成進捗
●教えることについての理解	
【Step.1】	【Step.2】自己分析結果・達成進捗

記入日	年 月 日
-----	-------

本用紙は履修カルテに綴じ込み、大切に保管すること。

ガイダンス名	3年次教職ガイダンス	項番	13
資料名	教職課程履修者自己評価票 教科に関する専門的事項(実習編)	配付日	月 日

校 種	高等学校	教 科	数学
-----	------	-----	----

教職課程履修者自己評価票 教科に関する専門的事項 (実習編)	学籍番号		
	学部・学科	学部	学科
	氏 名		

●取得希望免許教科：自身が希望する取得希望免許教科を記入すること。

中学校				高等学校			
-----	--	--	--	------	--	--	--

1. 以下の質問に対して自らの考えに最も近いものを選択してください。

①免許教科【高等学校数学】取得のための『教科に関する専門的事項』の全体的な理解はどうですか？

・A：とても十分 ・B：十分 ・C：不足している部分がある ・D：不足している

回答

②免許教科【高等学校数学】のための『教科に関する専門的事項』の科目群における知識バランスをどのように考えますか？

・A：適している ・B：偏りは少ない ・C：偏りがある ・D：大きく偏っている

回答

2. 1. を踏まえ、自身が希望する免許教科『教育職員免許法施行規則に定められる教科に関する専門的事項』について、現段階で授業を通じての「理解・重要である点」「教育実習までの目標と課題」をそれぞれ挙げなさい。

教科科目群	理解・重要である点	
代数学		
履修単位	教育実習までの目標と課題	
[] 単位		
※履修中の単位を含む		
教科科目群	理解・重要である点	
幾何学		
履修単位	教育実習までの目標と課題	
[] 単位		
※履修中の単位を含む		

3年次の学びを整理するため、全ての項目を記入し履修カルテに綴じること。※提出を求める場合がある

教科科目群	理解・重要であると考え点	
解析学		
履修単位	教育実習までの目標と課題	
[] 単位		
※履修中の単位を含む		
教科科目群	理解・重要であると考え点	
「確率論、 統計学」		
履修単位	教育実習までの目標と課題	
[] 単位		
※履修中の単位を含む		
教科科目群	理解・重要であると考え点	
コンピュー タ		
履修単位	教育実習までの目標と課題	
[] 単位		
※履修中の単位を含む		

教科科目群	理解・重要であると考え点	
解析学		
	教育実習までの目標と課題	
履修単位		
[] 単位		
※履修中の単位を含む		
教科科目群	理解・重要であると考え点	
「確率論、 統計学」		
	教育実習までの目標と課題	
履修単位		
[] 単位		
※履修中の単位を含む		
教科科目群	理解・重要であると考え点	
コンピュー タ		
	教育実習までの目標と課題	
履修単位		
[] 単位		
※履修中の単位を含む		

ガイダンス名	3年次「教育実習(事前指導)」授業内	項番	74
資料名	「教育実習に臨むにあたって」作成ワークシート	配付日	月 日

学籍番号： _____

氏名： _____

取得希望免許教科	中学校			
	高等学校			

Q.1 教員とはどんな職業だと思いますか？

Q.2 自分のどんなところが教員に適していると思いますか？

Q.3 何をきっかけに教員という職業に就きたいと考えましたか？

Q.4 他の職業ではなく、教員を選択した理由は何ですか？

Q.5 取得を希望している免許教科について、なぜそれを選択したのですか？

Q.6 希望免許教科のなかで最も得意な分野、好きな分野はなんですか？理由も記入すること。

Q.7 教科指導の際、どのようなことに気を配りながら指導をしたいと考えますか？理由も記入すること。

Q.8 教科の指導を行うために、最も重要なことはなんだと考えますか？

Q.9 生徒指導に必要なことは何だと思いますか？

Q.10 自分は教員としての資質があると思いますか？

※提出を求める場合がある
●履修カルテに必ず綴じること

記入日	年 月 日
-----	-------

ガイダンス名	3年次内諾依頼状配付ガイダンス	項番	15
資料名	教育実習に向けた短期目標設定シート（3年次後半）	配付日	月 日

※熊谷版

I. 教職課程履修者 自己評価票【3年次1期】

「教職課程履修者自己評価票（2年次）」において自らが考えた『理解・重要点』を基準に、各項目の『課題』（≒3年次達成目標）に対し、今年度1期科目の履修を踏まえた現在の達成進度を自己分析する。

【Step.1】＜他者の理解＞

教職課程履修者同士で意見交換を行い、異なる視点から発見あるいは再認識した『理解・重要点』『課題』を記入する。

【Step.2】＜現状の理解＞

【Step.1】で把握した内容を踏まえ、各項目の『課題』の達成状況について自己分析を行う。

なお、自己分析のための材料として、「(項番12) 教職課程履修者 自己評価票【3年次1期】」裏面の「履修カルテ3年次コメントシート」を参考にする。

【コメントシートによるフィードバックと意義】

「教育実習（事前指導）」は、教育実習の事前学習を中心とし教育の実践について理解を深める科目である。コメントシートは「教育実習（事前指導）」担当教員が、「教職課程履修者自己評価票（2年次）」の各項目の自己評価や課題の認識についての妥当性および「教育実習（事前指導）」を通じての『講評』をもってフィードバックしたものである。このフィードバックにより現状の客観的な認識と、今年度1期の学修を踏まえた課題の見直しを目的としている。

※担当教員の評価・コメント内容と自己分析の結果が著しく異なる場合は、担当教員に適宜相談のうえ今後の課題について自ら熟考・検討すること。

II. 教職課程履修者 教育実習に向けた短期目標設定シート【3年次後半】（※本紙裏面）

Iに加え、3年次終了時点までの段階的かつ具体的な目標を設定する。

「教職課程履修者 自己評価票【3年次1期】」『課題』に対する現在の達成状況等を十分に把握したうえで、3年次終了時点（≒4年次教育実習直前）までの期間を以下の3段階に区切り、短期目標を設定する。

- ①3年次夏期休暇期間における達成目標
- ②3年次2期前半（9月～12月）における達成目標
- ③3年次2期後半（1月～3月）における達成目標

※特に、教育実習において最も重要である『教科指導（授業）』を中心に具体的な目標を設定すること。

※目標設定に際し、「自己評価票 教科に関する専門的事項（実習編）」を参考にする。

【参考】4年次教育実習までの『教科指導』における目標

教科に関する科目により修得した専門知識を基に、教科教育論を中心とした『授業に関する知識・技能』と『生徒の心理状況に関する知識』、また『学校教育についての知識・技能』を活用し、授業を構成し進行できる。

III. 履修カルテの提出について

10月～11月に履修カルテを提出してもらう予定である。それまでに配付した履修カルテ様式、自己評価票、コメントシート等全般について事前にしっかりと記入し、準備しておくこと。

ガイダンス名	3年次内諾依頼状配付ガイダンス	項番	1531
資料名	教育実習に向けた短期目標設定シート（3年次後半）	配付日	月 日

各自己評価票及びコメントシートを通じ現在の力量を客観的に捉え、教育実習において生徒に資する授業を行うために、教育実習に向けた短期目標を①教科学習進度・不足部分の補填、②教科指導のための課題、③模擬授業実施における課題の各観点から段階的に設定し、教科指導の質向上を図ること。

各時期に定める目標に対し、達成することが目的ではない。次年度教育実習においてより充実した教育実習を行うために具体的な目標設定を行い、段階的・継時的に学習を進めること。

【達成度評価基準】S…目標を大幅に超える成果を得た、A…目標を超える成果を得た、B…目標達成による成果を得た C…目標達成、F…目標未達成

時期	目 標	達成度	自己評価
3年次 夏期休暇			
	目標記入日（ 年 月 日）	達成度・自己評価記入日（ 年 月 日）	
3年次 2期前半（9月～12月）			
	目標記入日（ 年 月 日）	達成度・自己評価記入日（ 年 月 日）	
3年次 2期後半（1月～3月）			
	目標記入日（ 年 月 日）	達成度・自己評価記入日（ 年 月 日）	

※ 目標設定には具体的な達成目標を記入すること（模擬授業を●回行う、指導案を●回分作成する等）。

※ 設定する目標は教科指導の質向上を中心とした内容とし、そのための資格取得を掲げてよい。

学籍番号		氏 名	
------	--	-----	--

ガイダンス名	3年次教育実習報告会	項番	16 ³²
資料名	教育実習報告記録票	配付日	月 日

学籍番号:

氏名:

教育実習の報告を聞き学んだこと、今後努力すべきこと、また実習報告に関する感想を記入する。

●報告者氏名:	さん	(学部	学科)
実習校種・教科:				
			記入日	年 月 日

●報告者氏名:	さん	(学部	学科)
実習校種・教科:				
			記入日	年 月 日

●報告者氏名:	さん	(学部	学科)
実習校種・教科:				
			記入日	年 月 日

●報告者氏名:	さん	(学部	学科)
実習校種・教科:				
			記入日	年 月 日

●履修カルテに必ず綴じること

ガイダンス名	3年次履修カルテ返却ガイダンス	項番	17
資料名	教育実習に向けた目標設定シート（追加版）	配付日	月 日

教育実習に向けた短期目標を①教科学習進度・不足部分の補填、②教科指導のための課題、③模擬授業実施における課題等の各観点から段階的に設定し、教科指導の質向上を図るために3年次2期までの短期目標設定シートに加えて継続的に実施していくこと。教育実習までの期間を意識しながら、逆算して学習計画をたてていくこと。

より充実した教育実習を行うために具体的な目標設定を行い、段階的・継時的に学習を進めること。

【注意】・「時期」の設定は各個人の到達進度によって、自ら設定すること。

・「目標」については学習を進めながら見えてきた課題を基に設定する。よって必要に応じて追記すること。

教育実習予定

年 月 日～ 月 日 【校種・教科： ・ 】

【達成度評価基準】S…目標を大幅に超える成果を得た，A…目標を超える成果を得た，B…目標達成による成果を得た C…目標達成，F…目標未達成

時期	目 標	達成度	自己評価
〔 年次 ・ 月 〕			
		達成度・自己評価記入日（ 年 月 日）	
〔 年次 ・ 月 〕			
		達成度・自己評価記入日（ 年 月 日）	